

町史編さん室だより

仙田半畊(人物伝)

仙田半畊は、幕末の一八四九(嘉永二年)、現在の名古屋市中区赤塚町にあった味淋屋の長男として生まれました。10歳で東春日井郡の定光寺に入るも、一八六八(明治元)年に還俗して教員となりました。

一八七三年、半畊は富成村河北(現大口町河北)の仙田善之右工門の長女いわと結婚し仙田姓となりました。婿入りした仙田家は、大地主で豊かな経済基盤があったため、半畊は書画、漢詩を好み骨董を収集し教養を深めていきました。

村瀬太乙の薫陶を受け、のち京の秦金石に師事して南画を学び、漢詩・山水画を得意としました。一九〇一年、岐阜県絵画共進会に出品して二等賞、一九〇四年には全国絵画共進会および一九〇七年の全国南画会に出品して、各々一等褒状を受け帝国絵画協会となりしました。

また、半畊は、富成村(現大口町河北、二ツ屋、仲沖、外坪)の村長(一八九三から一八九五)、丹羽郡役所の郡会議員(一八九七から一九〇三)を歴任しています。

当時の小口村在住の画人、酒井椿溪と同世代であり共通点も多くみられます。半畊は婿養子ではありませんが、二人とも裕福な家の出であり、酒井椿溪も小口村の村長、郡会議員を半畊のあとに歴任しています。

しかし、画に対する特徴は、山水画や花鳥を描くことを得意とした酒井椿溪に対し、半畊は、得手としていた山水画を極めようとしていました。

また、半畊は書も達者で、一九一五(大正四)年に建てられ小口城址の石碑は、半畊の書によるものです。大口町出身で、昭和から平成にかけて活躍した書家の高木大宇は、父・天仙が半畊に書を習っていたこと、天仙が半畊の書を「とにかく字がうまかった」と何度もいつていたことを語っています。

半畊は、一九二〇(大正九)年、七十二歳で生涯を閉じました。



▲溪橋看梅之図
246 × 153mm

問合せ先

町史編さん室 ☎95-34464



ウィル大口NEWS

VOL.14



[こちらよりホームページをご覧くださいませ↑](#)

3月21日(日)は、 ウィル大口スイムフェスティバル!

25m以上泳げる小中高生が参加できます。今年のスィムフェスティバルは、新型コロナウイルス感染症防止対策を取りながらおこないます。日頃の練習の成果を発揮しましょう!

※参加者は水泳帽子の着用が必要です。

※詳細はホームページをご覧ください。

申込み 2月7日(日) 午後5時まで

春期特別水泳教室開催決定!

3月27日(土)から29日(月)までの3日間、恒例の短期集中水泳教室を開催いたします。春休みの間に、苦手を克服しちゃいましょう! 90分間を3日連続しておこなうことで、いつも



より上達が早いことが見込めます。詳細はホームページをご覧ください。

教室一覧

多種目スポーツ/水泳/サッカー/幼児体操/園児体操/小学生体育/チアダンス/テニス/ソフトテニス
バレーボール/フィールドホッケー/生き生き土曜学級/のびのび健康体操/健康麻雀/うたごえ喫茶/プログラミング

指定管理施設

大口町総合運動場/大口町温水プール/わかしゃち国体記念運動公園/秋田グラウンド/河北グラウンド
総合テニスコート/大口町テニスコート/大口町屋内運動場/大口町野球グラウンド/ゲートボール場

NPO法人ウィル大口スポーツクラブ事務局 大口町温水プール2階 (月曜・火曜休業日) ☎95-1313

水曜日から土曜日 午前10時から午後6時/日曜日 午前10時から午後5時 (午後0時30分から1時30分除く)